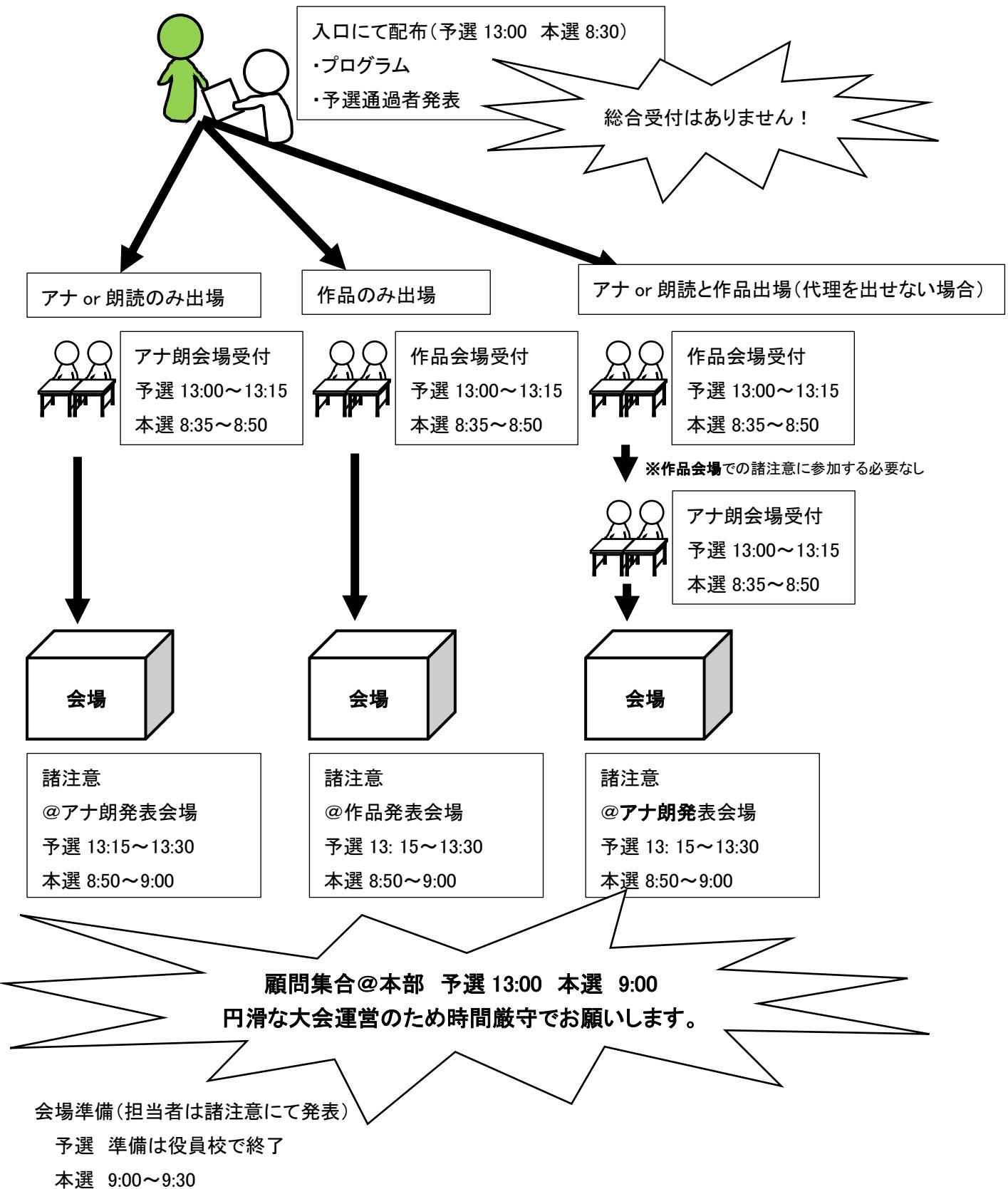


## NHK 県大会の生徒・顧問の動き

### 1. 大会前までの動き



## 2. 大会

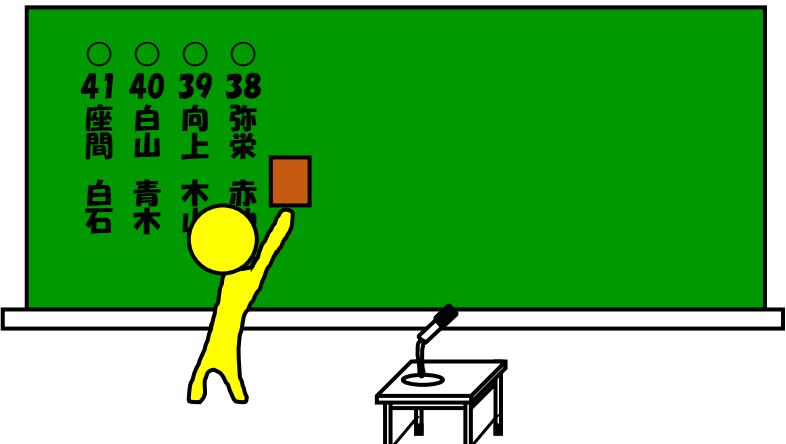
予選 13:30～ 本選 9:30～

### A. アナ朗

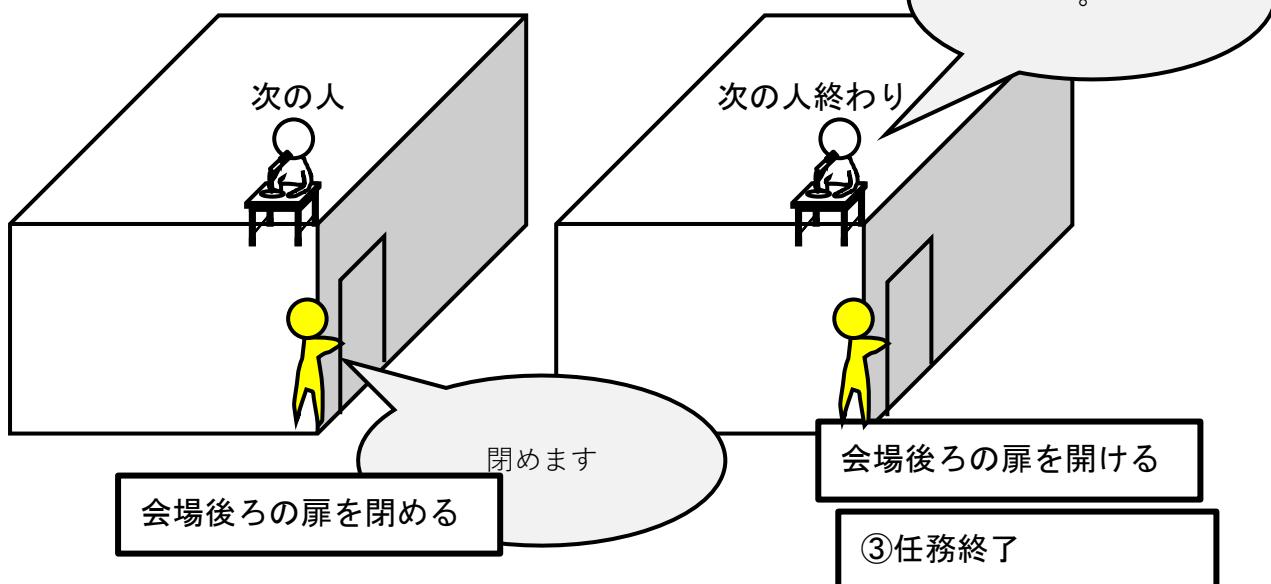
#### ○発表者全員の任務

アンパンのあり方を利用。

- ①発表が終わったら  
自分の名前を消す



- ②次の発表者のために  
ドアマンをする



#### ○特定の生徒のみの任務

※当日の諸注意の際に確定するので全員必ず理解しておくこと。

a) 以下の発表番号の生徒が下記の任務を行うことになる。

欠席者がいる場合は~~ずれること~~になるので必ず、全員が全ての任務を理解しておくこと

前 ○○○

.....

後 ○○○○○○○○○

主 副 回

片付け

b) 主…主計時

該当者…最後から 2 番目の生徒と 1 番の生徒

最後から 3 番目の生徒…1 番の生徒が発表と任務(ドアマン)が終わるまで

1 番の生徒…最後から 3 番目の生徒と代わったら最後まで

c) 副…副計時

該当者…最後から 2 番目の生徒と 2 番の生徒

最後から 2 番目の生徒…2 番の生徒が発表と任務(ドアマン)が終わるまで

2 番の生徒…最後から 2 番目の生徒と代わったら最後まで

d) 回…審査用紙回収

該当者…最後の生徒と 3 番の生徒

最後の生徒…3 番の生徒が発表と任務(ドアマン)が終わるまで

3 番の生徒…最後の生徒と代わったら最後まで

**B. 番組**

**○最後の 5 名が準備片付けおよび審査補助**

※欠席者およびアナ朗に出場する生徒を飛ばした最後の 5 名となるので、必ず全員が全ての任務を理解しておくこと。

A さん…計時(主)

B さん…計時(副) + 黒板

C さん…回収

D さん…ドアマン

E さん…予備

**C. 研発** ラジドキュが終わり次第一度全員集合すること。

0. 任務はアナ朗と同じ

1. 最後の 3 組が最初の任務

2. 発表が終わった学校はドアマン

3. ドアマンが終わったら、任務を行っている最も発表順番が早い学校と交代

4. 片付けは全員で行う。

## 2. 大会終了後

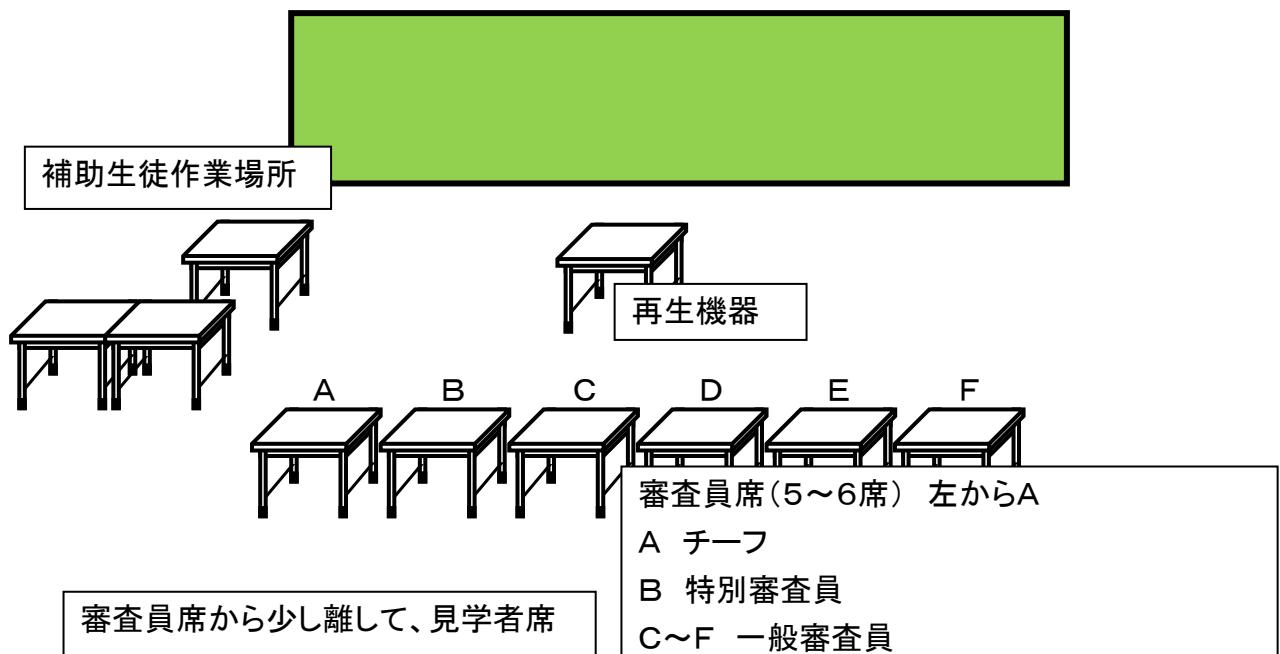
担当者は片付けおよび原状復帰。

機材を本部に運び、任務終了報告後解散

決勝大会のみ、午後(詳細な時間はプログラム参照)、指定された会場にて **特別審査員からの講評**

## 会場の設営 ※会場図はプログラム参照

- ①プログラムで審査員の人数を確認の上、椅子・机を人数分並べる。
- ②アナウンス・朗読部門は、出場者待機用に、9人分椅子を並べる。
- ③機器の点検…デッキなど音・画像を出して異常なしを確認する。
- ④何かトラブルがあつたら、本部の役員教員まで連絡すること。



### ○黒板

- ①黒板にはプログラムの通りに、番号・学校名を書く。尚、学校・氏名は略称でよい。

例) 法政大学第二高等学校 → 法政二

- ②棄権の場合は、黒板にその旨を記入する。

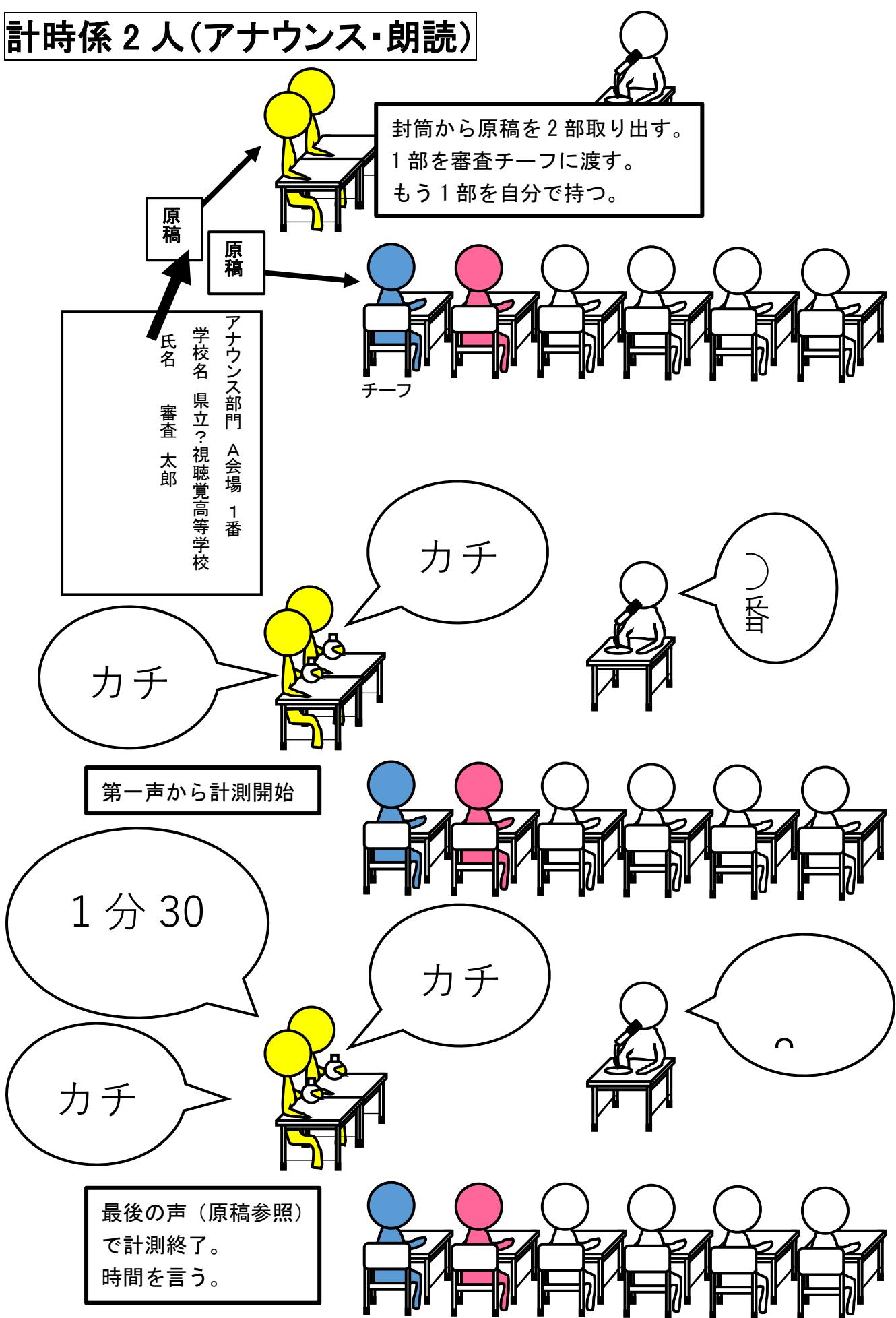
例) 法政二

### ○審査用紙の準備

- ①審査用紙には、あらかじめ審査員記号(A・B・C...)とエントリーナンバーを記入しておく  
(印刷されていれば必要なし)。

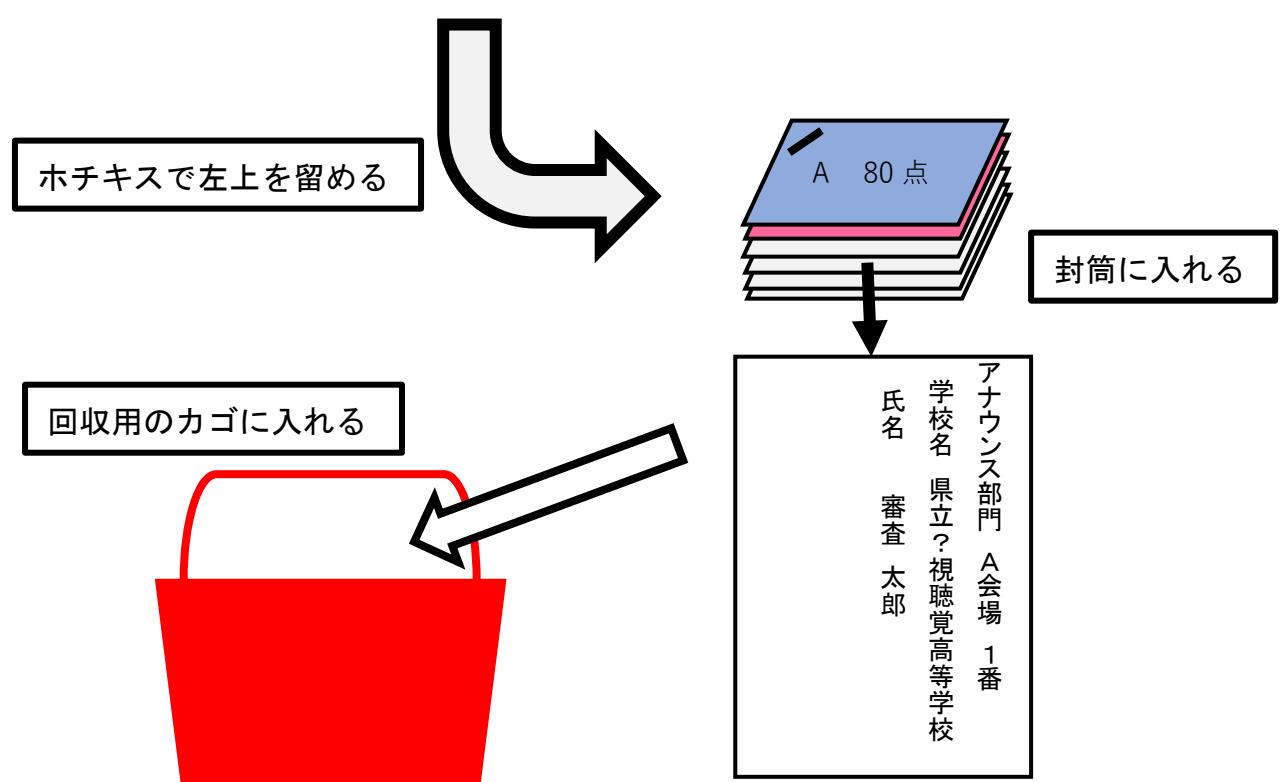
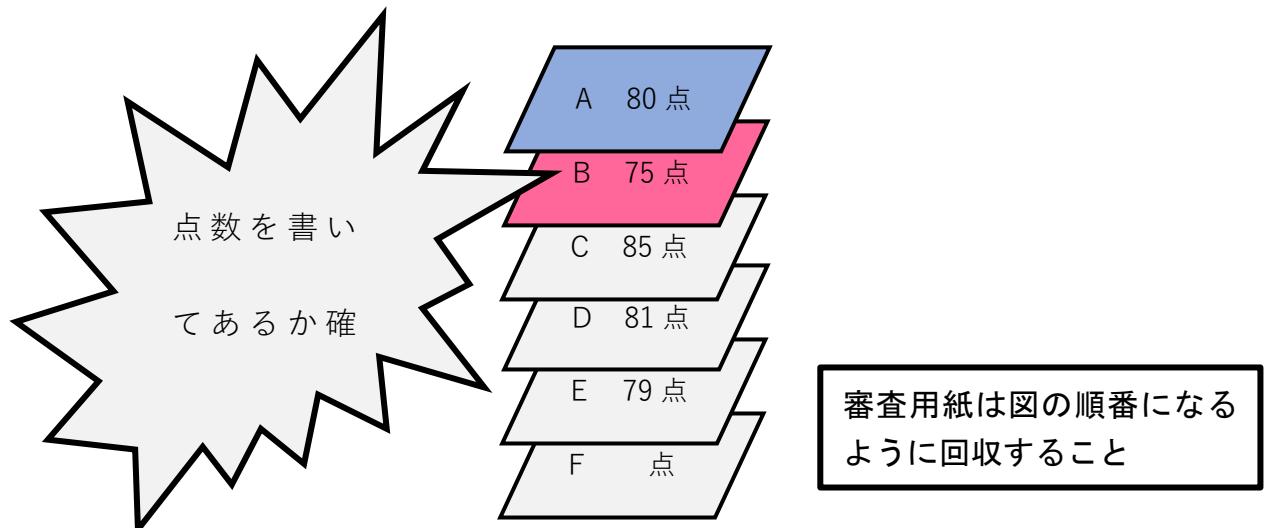
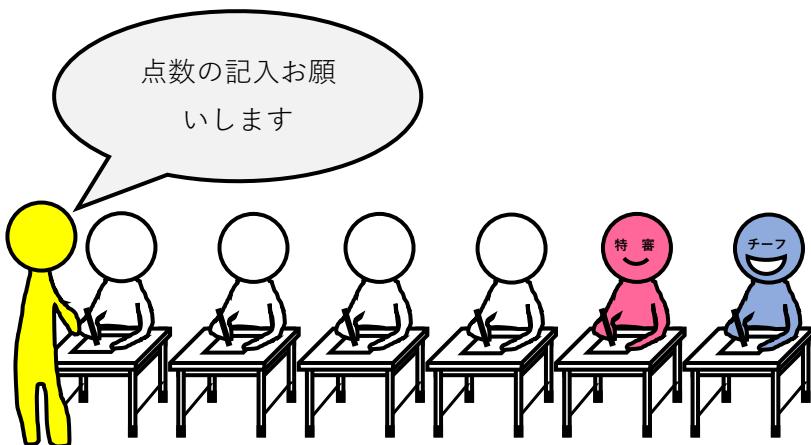
- ②各審査員の机に、筆記用具を準備する。その際、シャーペンの芯が十分にあるか確認する。

## 計時係 2 人(アナウンス・朗読)

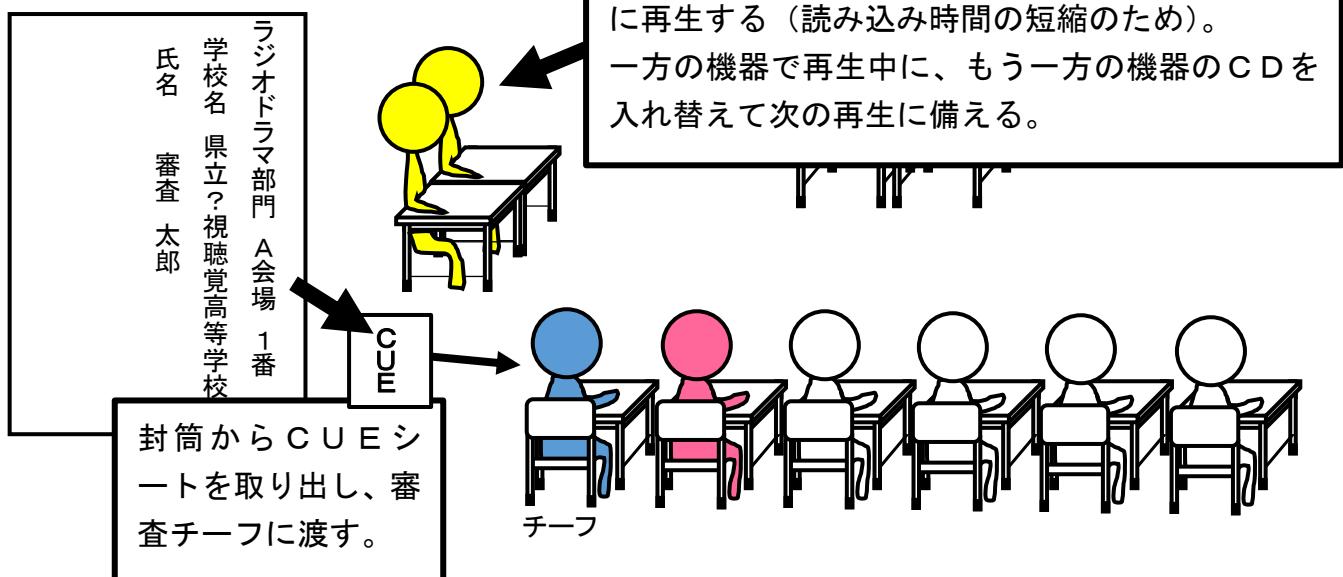


## 審査用紙回収係

※アナウンス・朗読は副計時が行います。



## 計時係 2人(ラジオ)



再生ボタンを押す

力チ

力チ

ニヨ

最初の音から計測開始

7分59

力チ

力チ

制作は○高等学校放送部でした。

クレジットコール終わり  
で計測終了時間を言う。  
同時に再生を止める。

## 計時係 2人(テレビ)

